

地域農業の競争力強化の方向性

【 沖縄県 】

1 最新の技術を活用し、当面確立すべき技術体系

対象品目 (経営類型)	競争力強化の方向性（地域戦略の方向性）、 現場ニーズ	必要となる技術体系
さとうきび	<p>沖縄県におけるさとうきび生産は、生産農家の高齢化や担い手不足、台風、干ばつなどの気象災害、病害虫の発生等により、平成23年期に復帰後最低の生産（約54万トン）となり、その後、平成26年期は約69万トンと回復基調にあるものの、未だ十分な生産回復に至っておらず、さとうきび生産を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。</p> <p>生産現場においては、生産者の高齢化、担い手不足、台風や干ばつなどの不安定な気象条件、機械化に対応した栽培技術が不十分、イネヨトウ等の病害虫被害の発生など、多くの課題をかかえており、このような様々な課題に対応できる育種技術や育種素材、栽培技術の開発の必要性が高まっている。</p>	<p>優良品種の開発、生産現場への普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定多収性を見据えた品種の育成 営農体系の変化に対応した生産性の高い品種の育成 多用途利用に向けた育種素材の開発と品種育成 <p>安定生産、増産に向けた技術開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な灌水技術の確立 効果的かつ低コスト、省力化を可能とする除草技術や施肥管理技術等の開発 <p>効果的、低コストな病害虫防除技術の開発</p> <p>省力・低コスト化に向けた機械化技術</p> <p>安定経営に向けた技術開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械化体系のダウンサイジング さとうきび経営安定モデルの構築 省力化、低コスト化等を見据えた採苗機開発
かんしょ	<p>沖縄県は、アリモドキゾウムシ、イモゾウムシの発生地域であることから県外への出荷・販売ができない。また、本土とは異なる病害虫の発生が問題となっている。</p> <p>県産かんしょの多くは、菓子類を中心とした加工用原料として生産・出荷が行われているが、安定生産に向けた品種育成、栽培技術の確立が必要である。また、各産地の出荷時期が重なることから出荷時期の平準化とともに品種の育成、栽培技術の確立が求められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アリモドキゾウムシ、イモゾウムシ根絶技術の確立 病害虫抵抗性品種の開発と耕種的防除技術の確立 安定生産技術の確立 実需者ニーズに応える加工向け品種の育成 食味や貯蔵性に優れた青果用品種の育成
水稲	<p>県産米は、島内消費が中心であり、県内需要を満たす安定生産技術の確立が必要。暖かい気候であるため、他の都道府県で育種・選抜された品種が利用できないことが多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安定多収栽培技術の確立 他県で育成している有望系統を用いた品種選抜
茶	<p>沖縄本島中北部で栽培されており、一番茶は全国一早いお茶として高く評価されているが、二番茶以降は出荷時期が県外の主要な産地と競合するため、一番茶の安定生産をめざすとともに二番茶以降について、他県産茶と勝負できる高付加価値化、加工技術の確立が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄の気象条件に適応した有望品種の選抜 安定生産技術の確立 紅茶生産技術の確立 高付加価値紅茶加工技術の開発

競争力強化の方向性や、技術体系の記述に当たっては、可能な限り、数値目標を記載願います。現時点で数値目標の記載が困難な場合は、定性的な記述でも結構です。

【担当部署】

担当部課名	電話番号
沖縄県 農林水産部 農林水産総務課	098-866-2254

地域農業の競争力強化の方向性

【沖縄県】

1 最新の技術を活用し、当面確立すべき技術体系

対象品目 (経営類型)	競争力強化の方向性(地域戦略の方向性)、現場ニーズ	必要となる技術体系
果樹	<p>沖縄県の果樹は、亜熱帯地域の温暖な気候を生かし、マンゴー等の熱帯果樹、パインアップル、カンキツ類等の生産を振興している。近年は、健康志向により、果実の安全・安心や機能性成分の観点から県産果実が注目されている。また、沖縄県では観光産業と連携した果実の消費拡大と周年供給が望まれている。</p> <p>果樹産地の形成と生産供給体制の強化を図るため、以下の課題に取り組む。</p> <p>おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに対応した新規品目の導入や生産性及び品質の向上を図るため、高品質かつ安定生産可能な産地形成を図る ・経営の安定化を図るため、経営形態に即した新規品目の導入、栽培面積の拡大、機械、施設の導入を推進する ・試験研究機関における新品種の育成を強化し、優良種苗の安定供給体制を整備する <p>流通・販売・加工対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おきなわブランドの確立を図るため、非破壊選果施設の導入等、選果システムの高度化を推進する ・鮮度保持に留意した流通システムの整備を図り、低コスト輸送システムの構築を図る ・加工については、消費者ニーズにあった新製品の開発を推進する <p>県産果実の安全・安心の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の食品に対する安全志向に対応し、安全・安心な県産果実の供給体制の構築を図る 	<p>おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な作型、気候変動下でも安定生産可能な高品質品種の育成 ・新規品目、品種、作型を活用した熱帯果樹類の周年供給体系 ・災害、鳥獣害に強い低コスト施設の開発による安定供給体系と経営安定化 ・育成品種、新規導入品目を効率的に普及するための種苗供給システムの開発 <p>流通・販売・加工対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟度判定技術や選別技術の開発 ・低コスト輸送体系の構築と輸送体系に適した鮮度保持技術の開発 ・小規模、小ロットで生産供給可能な果実加工品の開発 <p>県産果実の安全・安心の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害抵抗性品種や天敵等を活用した低農薬生産技術の体系
野菜	<p>沖縄県ではゴーヤーなど15品目を戦略品目として位置づけ、計画的な生産・出荷ができる拠点産地の育成及びおきなわブランドの確立を推進している。今後競争力強化図るため、以下の課題に取り組む。</p> <p>高品質・安定生産技術および出荷技術</p> <p>消費者ニーズに対応した新たな品種や栽培技術の導入、優良種苗の安定供給によって、生産性及び品質向上を図る。</p> <p>気象災害に対応した安定生産</p> <p>台風や高温、低温などの気象災害による影響を軽減し、安定生産を図る。</p> <p>環境に配慮した生産体制の確立</p> <p>化学農薬や化学肥料等の過度な使用による環境負荷を低減し、持続可能な農業を推進する。</p>	<p>高品質・安定生産技術および出荷技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質・安定多収性・耐病性品種の育成と優良種苗供給システムの開発 ・省力、低コスト化栽培技術の開発 ・安定生産管理技術の開発 ・沖縄の有利性を発揮する新規品目の導入と栽培技術の開発 ・島ヤサイ遺伝資源の収集と保存および地域ブランドとしての活用促進のための選抜と栽培技術の開発 ・野菜の機能性成分を維持・向上させる技術開発 ・遠隔輸送に対応した鮮度保持技術の開発 <p>気象災害に対応した安定生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の環境計測技術および環境制御技術の開発 ・新規農業資材等を用いた施設園芸作物の安定多収・高品質化のための研究 ・ネットの効率的な配置による台風被害軽減技術の開発 <p>環境に配慮した生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害抵抗性品種や天敵等を利用した低農薬生産技術の体系
花き	<p>沖縄県では小ギクなど13品目を戦略品目として位置づけ、安定供給体制の確立を図るとともに、平張防風施設等の整備を推進し、産地の育成を推進している。今後競争力強化図るため、以下の課題に取り組む。</p> <p>安定出荷体制の強化とおきなわブランドの確立</p> <p>主要品目であるキクの安定生産、需要期に合わせた計画的出荷、効果的な病虫害防除対策を図る。</p>	<p>安定出荷体制の強化とおきなわブランドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質かつ需要期安定供給を実現する品種育成と栽培技術の改善 ・効果的、低コストな病虫害防除技術の開発

競争力強化の方向性や、技術体系の記述に当たっては、可能な限り、数値目標を記載願います。
現時点で数値目標の記載が困難な場合は、定性的な記述でも結構です。

【担当部署】

担当部署	担当部署名	電話番号
沖縄県	農林水産部 農林水産総務課	098-866-2254

地域農業の競争力強化の方向性 【沖縄県】

1 最新の技術を活用し、当面確立すべき技術体系

対象品目 (経営類型)	競争力強化の方向性(地域戦略の方向性)、現場ニーズ	必要となる技術体系
花き	<p>消費者ニーズに対応した生産体制強化 消費嗜好の変化に対応した生産体制を強化し、キクではアナスタシア系等新規用途向け品種の開発、導入を図る。 低コスト、省力化生産技術の推進による担い手支援 意欲ある経営感覚に優れた担い手への支援、経営強化のため、低コスト、省力化生産技術の推進、キク電照では省エネ化技術の導入を図る。</p> <p>環境に配慮した生産体制の確立 化学農薬や化学肥料等の過度な使用による環境負荷を低減する生産を推進する。</p> <p>冬春期の気象有利性を生かした新規品目の導入と定着促進 新たな切り花品目や切り葉、観葉植物の導入と商品化並びに遠隔地流通システムの構築を図る。</p>	<p>消費者ニーズに対応した生産体制強化 市場動向、消費嗜好の変化に対応した新規用途向けキク品種の開発 低コスト、省力化生産技術の推進による担い手支援</p> <p>作業省力化技術の開発と適応品種の選定 規模拡大・経営安定を支援する作期拡大栽培技術の開発と適応品種の選定 省エネ型キク電照資材の選定・開発並びに新規電環境に配慮した生産体制の確立 効率的な病害虫抵抗性品種の育成 減農薬、減肥による環境負荷の少ない栽培技術の開発 冬春期の気象有利性を生かした新規品目の導入と定着促進 トルコギキョウ、スプレーギクの品種選定および高品質・安定生産技術の確立 熱帯、亜熱帯性花き類の探索と商品開発 新規切り花、切り葉、観葉植物の導入・選定と定着化技術の検討並びに低コスト鮮度保持・輸送技術の開発</p>

競争力強化の方向性や、技術体系の記述に当たっては、可能な限り、数値目標を記載願います。
現時点で数値目標の記載が困難な場合は、定性的な記述でも結構です。

【担当部署】

担当部課名	電話番号
沖縄県 農林水産部 農林水産総務課	098-866-2254

地域農業の競争力強化の方向性 【沖縄県】

1 最新の技術を活用し、当面確立すべき技術体系

対象品目 (経営類型)	競争力強化の方向性(地域戦略の方向性)、現場ニーズ	必要となる技術体系
酪農	全国的な牛乳消費量の低迷、飼料価格の高騰等により県内酪農家の経営は厳しく、これまで以上の生産コストの低減が求められる。そのため高位生産性牧草の選定ならび機械化作業体系の確立が求められる。また酪農経営における性別別技術の向上や乳用牛の供用期間の延長を含めた飼養管理技術の向上が求められる。	<ul style="list-style-type: none"> ・高位生産性牧草の選定および機械化作業体系の確立 ・性別別技術の向上 ・乳用牛の飼養管理技術の向上
肉牛	全国第4位の子牛産地として産地間競争力を強化している。 県内肉用繁殖牛の分娩間隔は全国平均の413日より長く、分娩間隔は生産費を大きく左右することから、適切な飼養管理技術の向上による短縮、全国トップレベルの産肉能力を持つ優良種雄牛を造成し、市場価値の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛の飼養管理技術の向上 ・妊娠早期診断技術の向上 ・優良種雄牛の造成 ・出荷子牛の市場性の向上
養豚	県内養豚をめぐる情勢は、環境問題、飼料高騰、事故率の低減等の課題があり、厳しい状況にある。 悪臭を低減する資材、飼料高騰による影響を低減するための未利用資源を活用した給与技術の開発、衛生管理の向上による事故率低減などの研究が求められる。	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭低減資材の開発 ・「オガコ資材」の堆肥化に関する研究 ・未利用資源の給与技術の開発 ・未利用資源の調査研究 ・養豚獣医療体制の整備

競争力強化の方向性や、技術体系の記述に当たっては、可能な限り、数値目標を記載願います。
現時点で数値目標の記載が困難な場合は、定性的な記述でも結構です。

【担当部署】

担当部署	担当部署課名	電話番号
沖縄県	農林水産部 農林水産総務課	098-866-2254

地域農業の競争力強化の方向性

【 沖縄県 】

2 次世代の先導的技術に対する期待・意見等

対象品目 (経営類型)	将来に向けて競争力の飛躍的な向上を図るために必要な技術	必要な研究課題の内容 (開発の内容を具体的に想定している場合は記載)
さとうきび	沖縄県の地理的特性や気象条件等に対応した安定生産、多収技術などを実現していくために、高水準な品種の育成に向け、多様な育種素材の開発と品種育成への活用が重要となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい気象環境への適応性の改善に向けた素材の開発 ・病害抵抗性を備えた素材の開発
かんしょ	周年収穫が可能となる品種育成と栽培技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・周年収穫を可能とする品種の確立 ・病害虫被害軽減技術の開発と安定生産技術の確立
果樹	気候変動下でも安定的な生産・販売・経営を図るための精度の高い生産予測技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・着花(果)システムの解明 ・産期調節技術の開発 ・環境要因、樹体要因による生産予測技術開発
野菜 果樹 花き	新規農業資材等を用いた施設園芸における高温抑制技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能光選択性被覆資材等を活用した高温対策技術の開発 ・調光性資材を活用した高品質生産技術の開発
野菜 果樹 花き	品種育成の効率化や産地保護(権利保護)を目的とした地域特産作物のDNAマーカー育種システムや品種識別技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・品質・耐病性等のDNAマーカー選抜育種システム ・地域特産作物のDNAマーカーによる品種識別技術
野菜 果樹 花き	亜熱帯地域における農薬環境リスク低減技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄土着天敵活用技術の開発 ・生物資材の活用技術の開発
野菜 果樹	低コストで省力的な農産物の機能性成分分析技術および機能性農産物の探索	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の機能性成分分析技術の開発および機能性農産物の探索
野菜 花き	省エネおよび高品質生産を目指す光環境調節技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の栽培環境条件に適應する耐候性LED電照資材の開発 ・冬期寡日照条件を克服する補光利用技術の開発

【 担当部署 】

担当部課名	電話番号
沖縄県 農林水産部 農林水産総務課	098-866-2254